

# みつけ 市議会だより

2021

No.110

令和3年11月5日発行



～わくわく体験塾「議会体験会」を開催しました～

詳細は11ページをご覧ください！

## 9月定例会

- 9月定例会の概要…………… 2～4
- 一般質問（12人）…………… 5～10
- わくわく体験塾報告…………… 11
- 街かどで一言、議会日誌等…………… 12

発行：見附市議会

編集：議会だより編集委員会

〒954-8686

新潟県見附市昭和町2-1-1

TEL：(0258) 62-1700（代表）

FAX：(0258) 63-1006

E-Mail：gikai@city.mitsuke.niigata.jp

# 令和3年 第3回（9月）定例会

令和3年第3回（9月）定例会は、9月3日から17日までの15日間の会期で開催され、3日の招集日には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する一般会計補正予算を可決。条例の一部改正2件、決算認定9件、令和3年度補正予算3件を各委員会へ付託しました。

7日・8日には12人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

9日は総務文教委員会、10日は産業厚生委員会を開催し、付託された議案について、審査を行いました。

3日及び13日から15日までの4日間で決算特別委員会を開催し、令和2年度一般会計予算をはじめとする各会計9件について審査を実施しました。

最終日の17日は、渡辺総務文教委員長、佐野統康産業厚生委員長による委員会審査報告の後、付託議案の採決が行われ、いずれの議案とも全会一致で可決されました。

決算の認定では、五十嵐決算特別委員会委員長の委員会審査報告の後、付託議案の採決が行われ、いずれの議案とも全会一致で可決及び認定されました。

また、任期満了による教育委員会委員の任命について、齋木可奈子氏（南本町2）の任命に同意しました。

議員発議は「コロナ禍における私立高校生の学びを保証し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」について全会一致で可決しました。意見書については、内閣総理大臣他関係機関に提出しました。

審議結果は次のとおりです。

## 審議結果一覧

採決結果 (◎:全会一致で可決されたもの ○:賛成多数で可決されたもの ×:否決されたもの)  
付託委員会 (総務:総務文教委員会 産業:産業厚生委員会 決算:決算特別委員会)

		議案名	議案内容	本会議採決結果	付託委員会
市長提出議案 (16件)	議第36号	見附市議会議員及び市長の選挙ポスター掲示場設置に関する条例及び見附市議会議員及び見附市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国政に準じた準義務制のポスター掲示への移行及び選挙運動用ポスター作成に係る公費支払い限度額に関する改正を行うもの	◎	総務
	議第37号	見附市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	番号法改正によるマイナンバーカード再交付手数料項目の削除及び租税特別措置法改正による優良住宅認定業務に関する根拠の号を改めるもの	◎	産業

## 審議結果一覧

採決結果 (◎:全会一致で可決されたもの ○:賛成多数で可決されたもの ×:否決されたもの)  
 付託委員会 (総務:総務文教委員会 産業:産業厚生委員会 決算:決算特別委員会)

	議案名	議案内容	本会議採決結果	付託委員会
市長提出議案 (16件)	議第38号	令和2年度見附市一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入 281億5,357万8,059円 歳出 274億8,646万3,968円	◎認定 決算
	議第39号	令和2年度見附市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 35億9,977万8,765円 歳出 34億6,912万3,593円	◎認定 決算
	議第40号	令和2年度見附市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 4億3,652万6,157円 歳出 4億3,333万2,041円	◎認定 決算
	議第41号	令和2年度見附市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 42億4,442万7,037円 歳出 41億1,939万3,824円	◎認定 決算
	議第42号	令和2年度見附市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 1億1,079万1,401円 歳出 6,156万9,582円	◎認定 決算
	議第43号	令和2年度見附市ガス事業清算特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 49億102万860円 歳出 49億102万860円	◎認定 決算
	議第44号	令和2年度見附市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	利益の処分 1億1,514万2,589円 歳入 44億4,403万2,342円 歳出 45億9,464万3,087円	◎可決及び認定 決算
	議第45号	令和2年度見附市下水道事業会計決算の認定について	歳入 33億6,669万965円 歳出 36億9,653万7,688円	◎認定 決算
	議第46号	令和2年度見附市病院事業会計決算の認定について	歳入 38億2,939万5,969円 歳出 38億2,876万5,813円	◎認定 決算
	議第47号	令和3年度見附市一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出それぞれ528,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17,749,000千円とするもの	◎ 総務産
	議第48号	令和3年度見附市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ5,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4,501,000千円とするもの	◎ 産業
	議第49号	令和3年度見附市水道事業会計補正予算(第1号)	資本的支出を800千円増額するもの	◎ 産業
	議第50号	教育委員会委員の任命について	齋木可奈子氏(南本町2)	◎同意
	議第51号	令和3年度見附市一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出を105,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17,221,000千円とするもの(新型コロナ関連)	◎
議員発議(1件)	議第4号	コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について	◎	

## 意見書 1 件を関係機関へ提出しました

### コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書

#### (要旨)

今日、全国では約 3 割の高校生が私立高校で学んでおり、私立高校は公立高校と同様に公教育の場として大きな役割を果たしています。

令和 2 年度より私立高校生への就学支援金制度が拡充されましたが、対象が授業料のみに限定されているため、入学金や施設設備費の保護者負担は残され、国と県の学費支援を受けても負担が重くのしかかります。新型コロナウイルス感染症が収まる気配はなく、休業や失業などの経済不況が市民生活を脅かすなか、子どもたちが学費の心配なく学校で学ぶことができるよう、学費の公私間格差の是正が強く望まれます。

また、一人ひとりの生徒にゆきとどいた教育を行うために、私立高校の専任教員数が公立よりも少ない状況を改善することが重要です。

私立高校の教育の充実を図るため、意見書に記載した事項を実現するよう強く要望し、内閣総理大臣ほか関係大臣、衆参両院議長、及び新潟県知事あてに意見書を提出するものです。

### 議会を見よう!

～次の定例会は12月です～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- ①議場で傍聴 ～ライブで!  
当日、直接市役所 5 階の議場へおいでください。
- ②インターネットで生中継  
本会議の様子を生中継でご覧になれます。臨場感があります。
- ③インターネットで録画中継  
開催日の 2 日後（土曜日・日曜日・祝日を除く）から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- ④会議録で読む  
議会終了後 2 か月程度で会議録が出来あがります。見附市ホームページから見ることができます。



徳永英明  
議員



◆21年産米仮渡金の大幅減額について

**質問** 仮渡金減額に対して補填等の対応について伺う。

**答弁** 任意加入ではあるが、国の収入減少影響緩和対策、いわゆるナラシ対策や収入保険、農業共済など農業者向けの減収対策制度が整備されていること及び国の融資制度である農林漁業セーフティネット資金の利用が出来ることから、現時点では市単独の補填は考えていないが、主食用米の仮渡金の大幅減については全国的な問題であることから、今後国、県の動向を注視していきたいと考えている。

**質問** 市で取り組んでいる生産組織育成事業や経営体への農地利用集積に今回の仮渡金の下落が推進活動にどのような影響を与えるか、市の考えを伺う。

**答弁** 地域の農地を担う法人の育成の必要性がこれまで以上に増すと考えられる。また、その担い手の安定した経営には、生産コスト削減と需要に応じた生産による安定した収入が

必要であり、生産コスト削減のために農地の面的な集約に重点を置いた集積が進み、安定した収入確保のために現在市で生産拡大を図っているニラなどの園芸作物含めた複合経営が進んでいくものと考えている。

◆マイナンバーカードの普及について

**質問** 今年9月にデジタル庁が発足し、令和4年度末までにマイナンバーカード交付率100%達成を求めているが、当市においては8月1日現在34%であり、今後1年半で急速な普及が図れるか伺う。

**答弁** マイナンバーカードには電子証明書が搭載されており、オンラインで確実な本人確認ができるため、国が進める安全、安心で利便性の高いデジタル社会構築における鍵とされている。9月から市内企業への出張申請補助及び出張交付サービスを行い、市役所に来庁しなくても申請、交付ができる取り組みやチラシ等でのPRを行い、交付率の向上に努めていく。



佐野勇  
議員



◆安定した農業収入対策と米の生産調整について

**質問** 当市における個人農家、生産組織における生産配分率と達成率は。

**答弁** 生産配分率は一律であり、達成率は市全体で97.5%、個人農家は100.8%、農業生産法人は106.3%で販路を自ら開拓していることがわかる。

**質問** 個人農家の平均年収と市独自の販売戦略が必要では。

**答弁** 令和2年で309.2万円となっている。学校給食米を小学校米として一般販売しているほか、ほつとびあ、パティオなどの見附産米を取り扱うことが可能な公共施設とのマッチングの強化に努め、所得拡大につなげたい。

◆コロナウイルスの感染拡大を受け当市での取り組みについて

**質問** 当市における子ども陽性者状況と学校内の感染対策は。

**答弁** 10歳未満の市内感染者は8月30日現在で15人、10歳代は5人。授業中はマスク着用、机を離す、換気、給食時は黙食、配膳時はマスク

着用、音楽等の感染リスクの高い授業はマスクを着用し、リコーダー等の楽器を使う場合は、教室以外の広い空間において周囲との間隔を空けている。

**質問** リモート授業の現況は。

**答弁** 今年度1人1台の情報端末の整備を終え、今後一斉休校となるような状況となった場合は、緊急措置として情報端末を持ち帰りリモート授業ができるよう準備を進めている。

**質問** 64歳以下の接種の見通しは。

**答弁** 7月21日に対象者全員に接種券を送付完了した。市内医療機関での個別接種を合わせて10月下旬には、集団免疫確保目安7割の方の2回接種を完了したい。

◆久住市長の市政運営について

**質問** 指定管理3施設に計1,800万円が補填され、慢性的な赤字体質が危惧されるが。

**答弁** 指定管理制度は住民サービスの向上と経費の節減を目的に導入してきた。評価委員会によって評価していただき、必要に応じて指定管理者に対する改善等を指示している。



大坪 正幸  
議員



◆長引くコロナ禍での産業振興と支援策について

**質問** 見附市観光物産協会の事務局長が新しく就任し、市の出向職員の異動があった。市から多額の運営費が支出されているが、今までの課題と課題解決に向けての今後の取組は？

**答弁** 市内事業者と力を合わせて、まちの稼ぐ力を向上させ観光物産協会の自主財源を増やし、自立に向けた財政基盤を整えることが課題。みらい市場、どまいちの物産品のPR、販売を強化し、年間売上10%増加が目標。観光事業はSNSを活用し、観光・イベント情報等の発信を強化する。

**質問** 株式会社ブリッジにいがたは平成31年4月に第四北越銀行が出資設立され、販路開拓、観光振興、生産性向上を柱に地域活性化に貢献することを目的としている。コロナ禍で売上の減少に悩む市内の事業者に対して、新潟県、ブリッジにいがた、見附商工会、見附市観光物産協会と連携し見附市が取り組める支援

策は何か？

**答弁** 情報交換し市内事業者につなげたい。アフターコロナを見据え県外、海外へ向けた販路開拓などの取組が想定され必要に応じて財政面でも支援したい。商工会、観光物産協会と連携を強化し取り組みたい。

◆久住市長不出馬表明への疑問と後継者擁立をめぐる不可解な動向について

**質問** 5期19年の久住市政において、久住市長の親族が関係する事柄が度々議会で取り上げられてきた。今も市長の後継者とされる方を親族が引き回している。親族による市政への過度な干渉、影響力の行使は避けるべきであり、今後影響力を残そうとすることは慎むべきではないか？

**答弁** 現在、裁判で訴えられているのは市の職員であり私の兄の会社ではない。私が市長でいる限り反論してこなかったが、昔の見附市政に比べて19年間、人事採用でも企業の入札でも潔癖であり、それが私の矜持であり誇りである。

◆見附市の財政運営について

**質問** 財務諸表の開示予定及び審査予定はいつか問う。

**答弁** 複式簿記による平成30年度分の財務書類を令和2年度に作成。財務書類は、資産、負債、純資産の残高及び内訳を表した貸借対照表、行政運営に係る1年間の経常的な経費と対応する収益を表した行政コスト計算書、貸借対照表の純資産の部が1年間でどのように変動したかを表した純資産変動計算書、1年間の資金の流れを表した資金収支計算書の4つの書類で構成されている。また、財務書類は一般会計における財務書類、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた全体財務書類、全体財務書類に一部事務組合や広域連合、地方公社などを合わせた連結財務書類の3種類があり、これらの財務書類は市ホームページで公表している。なお、審査予定はない。

**質問** 財政シミュレーションは現在どのようなになっているのか問う。



石田 敏明  
議員



**答弁** 今後の収支見込みを明らかに計画的な財政運営を行う上で、財政の健全性を保ちつつ、持続可能な財政運営を行うために必要なものである。本年度中に策定し、現在作成に向けて取り組んでいる。

◆新型コロナウイルスにおける現役世代及び小中高生の感染予防対策について

**質問** 小中学校における抗原検査キット・PCR検査の使用について

**答弁** 学校に来た段階で突発的に発熱、具合が悪くなった場合、保護者へ連絡を取って、少しでも早く医療機関受診してもらおう方針である。なお、抗原検査キットは、緊急避難的な措置としているが、使用方法や場面設定等、仕様書を見ても学校を混乱させる要素が多くある。よって、一斉に全部学校で抗原検査をするものではないという制度設計になっている。PCR検査については、学校現場で検査を実施することは考えていない。



関 三 郎  
議 員



◆何故、この時期に6選不出馬表明なのか？

**質問** 市長としての5期19年の総括の自己評価と、何故、この時期に6選不出馬を表明されたのか伺う。

**答弁** 5期19年の自己評価は、平成の大合併という転換期において、市民の総意として自律の道を選択して以来、様々な分野で市民の皆様と協働のまちづくりを進め、2度にわたる激甚災害をはじめとした数々の難局を乗り越え、将来のオンリーワンのまちの姿を実現させる歩みを着実に進めてきた。

また、健康を施策の中心としたスマートウェルネスみつけの実現を目指し、外出したくなる場所づくり、様々なインフラ整備、公共交通網の整備など、まちづくり全体に通じる総合施策を展開してきた。第5次見附市総合計画の折り返しを迎え、まちづくり総合審議会の審議を経て、後期基本計画を策定し、計画全体の進捗状況もおおむね順調という審議会の評価を得ることができた。次の

時代に継承できる成果の積み上げと、将来にわたって必要となる施設の整備等にめどが立ったことから、新しいアイデアと行動力を併せ持つ気概のある若い世代の方が政策に着手することができると準備でき、市民の信託の機会が確保されるための最良の時期を迎えたと判断し、先の報道のとおり「不出馬」の意を表明した。

**質問** 9月議会は決算議会で、議

会終了後、直ちに来年度予算の準備が始まり、市長の職務からすれば大きな節目と考えられる。9月2日の新潟日報の上越地域版で「衆院選×上越市長選・市議補選」のトリプル選が取り沙汰されていた。見附市においても衆院選に絡めたトリプル選という可能性があるのか伺う。

**答弁** 衆院選等いろいろあると思うが、もしもの場合は、市長選挙で市民の皆さんが十分に考えられるようにすることが総合的に判断する中の大きな要素にある。

◆妊産婦のグリーフケアについて

**質問** 晩婚、晩産化の進展で不妊治療を受ける人が増える一方、流産や死産を経験した女性が適切なケアを受けられずにいる現状を受け、厚生労働省が支援強化に乗り出した。悲しみや喪失感を支えるグリーフケアを既存の妊産婦支援事業を利用し、きめ細かく実施するよう自治体に通

知している。厚生労働省は、今後支援に当たつての留意点として、乳幼児と同じ場所でケア事業を行うと子どもを失った女性が精神的に負荷を感じることから、適切な配慮をするよう要請している。見附市の現状を伺う。

**答弁** 相談を希望される場合は、子育て世代包括支援センターに位置づけられており、助産師が相談をお聞きすることができるところから、ノウハウみつけで対応させていたたく。相談者のお気持ちを受け止め、寄り添った対応をしていきたいと考えて



渡 辺 美 絵  
議 員



いる。窓口の相談は、プライバシーが守れる個室を使用するなど、落ち着いて相談していただけるような雰囲気づくり等、配慮に努めていく。

**質問** 厚生労働省はこのグリーフケアを充実させるため、自治体や医療機関によるサポートの実態調査を年内に始める。この問題は少子化問題や女性活躍といった観点からも避けて通れないと考える。この妊産婦のグリーフケアについては、見附市として今後どのように対応していくか、お考えを伺う。

**答弁** まず直接対応する助産師や保健師は、母子保健指導者養成研修等の研修会に積極的に参加して支援方法等を学び、資質向上に努め、相談があった場合にはパートナーやご家族へのケアも含めての対応が必要であると考えている。ケアを望まれている方それぞれが必要としている支援の充実を図っていきたい。



五十嵐 勝  
議員



◆コロナウイルスと向き合う市民生活について

**質問** ワクチン接種率や進捗は順調か、若年層の接種の懸念はどうか？

**答弁** 接種率8割と考え10月末で2回目完了の予定。若年層に向かうほど接種率が下がる傾向であるが、妊婦の方を対象とした優先枠の用意やこども課、教育委員会とも連携し接種率向上に取り組みたい。

**質問** 全国でも12歳未満の感染拡大が懸念されている。小中特別支援学校での集団感染対策はどうか？

**答弁** 学校を通じて保護者への呼びかけやワクチン接種も含めた集団感染対策を関係機関の指示を受け、適切に対応していきたい。

**質問** 飲食店トクトククーポンの効果はどうか？仮に状況が落ち着いた場合第3弾等の実施の検討は？

**答弁** 飲食店からは売上げが上がった。新規客が増えた。常連が増えたとの声が多く、状況が落ち着けば第3弾の実施も検討したい。

**質問** 会社等で感染した場合の労務災害の適用基準は？事例はあるか？

**答弁** 業務に起因した感染は労災の適用となる。但し保健所から情報がなく対象者の有無は答えられない。

**質問** 全国的に自宅療養が増えている。市では自宅療養の感染者に5日分の食料を届けるサービスや血中酸素濃度を測る機材などのフォローは？

**答弁** 今まで、延べ24件の食料支援を行った。機材は基本的に県から届けられ、市としても備蓄している。

**質問** コロナ対策は国や県の動向もあり、どうしても受け身、受動的に感じる。市民活動や経済活動など、市長はもっと能動的に対応したほうがよいのではないか。

**答弁** ご指摘の通りネガティブキャンペーンになっていく面がある。接種が進み、危ない危ないだけでなくノーマルな生活やいろいろな活動が普通に出来るような方向に誘導できると考える。注意をしながらも消費喚起に繋げ、それが地域経済や市民活動につながるよう願っているし、また考えていきたいと思う。

◆地域の医療資源確保について

**質問** 市民が安心して医療が受けられる体制づくりには医療スタッフ確保といった医療資源強化の取り組みが不可欠であるが、市内の医師数は県内20市で最下位である。この現状をどう認識し感じているのか。

**答弁** 29年度以降市内5診療所が閉院し、今後高齢社会が進展し医療の必要性が高まることが予想され、非常に厳しい状況にあると認識している。医師や診療所を増やしていくことは市町村にとってハードルの高い課題であるが、持続可能なまちづくりのために最重要課題として取り組んでいく必要がある。

**質問** 市民が安心して地域で医療が受けられるためには積極的に関業を増やしていくことが喫緊の課題であり、そのための見附市診療所新規開業支援事業が実施されているが、医療機器等の初期投資を考えた時に上限500万円は果たして魅力的と言えるのか。

**答弁** 他市は確かに手厚い支援制度・支援内容になっている。予算等の



佐々木 志津子  
議員



の絡みもあるのでは、簡単に上げるといふ話ではないが、もう少しインパクトのある数字も検討していく必要があるものと考えます。

**質問** 市の健康施策に反映できるように新潟大学と3年間の共同研究が進められており今年度が最終年度である。次年度も継続していく必要がある。健康寿命の延伸につながるため、現在の消化器系に加え循環器や呼吸器内科との共同研究をし、医師派遣をしてもらう必要があるのではないか。

**答弁** 事業の継続については医局の人員体制を含めてこれまでと同様に医局との連携を行い、新年度予算や事業編成に合わせて検討を進めたい。循環器や呼吸器系の共同研究ができれば市にとって大変意義あることだと考えるが、大学が自治体や病院との連携により研究や取り組み方針があるかどうか、見附市を研究フィールドとしてもらえるかといった点をクリアしながら相談していく。医師派遣のお願いと含めて大学医局との連携の深化に努めたい。





浅野 千紘  
議員



◆イエナプラン教育について

**質問** 見附市では将来的にイエナプラン教育を取り入れる可能性はあるか。(イエナプラン教育とはクラス内を1年生から3年生など異年齢で構成し、時間割は教科中心ではなく、対話・遊び・学習・イベントの4つの活動がベースとなる。また評価も生徒自身の学習日記や成果物を基に教員が文章で評価する。主体性と協調性を重視した教育方法。2022年に広島県で初めての公立小学校が開校予定。)

**答弁** 市内全ての学校で共創教育の理念の下、学校、保護者、地域の大人が総がかりで子供の育ちに関わることで成果が上がっている。現段階では直ちにイエナプラン教育を見附市の教育に取り入れる考えはないが、様々な教育方法の良さは積極的に取り入れていきたいと考える。

**質問** 広島県福山市のイエナプラン教育校の2021年度の新入生は20人のうち半数が市外からの応募であった。また説明会には2022

人が集まるなど注目度が高い。教育環境の整備と移住についてはどのように考えるか。

**答弁** 教育の理念は人づくりであり、移住のための政策ではないが、結果的に今の見附の教育が移住のきっかけとなるよう情報発信をしていきたい。

◆パートナーシップ条例について

**質問** 見附市の人口規模ではパートナーシップ条例の必要性の把握は難しく、声が上がったから検討するというプロセスは困難であると感じる。このような場合どのようにして条例の検討を始めるのか。

**答弁** 市民から条例制定に向けた声を直接的に把握することは確かに難しい状況である。見附市人権教育・啓発推進計画の見直しに向けた「人権に関する市民意識調査」を実施し、その中で性的少数者、LGBTといった人権に関する質問項目を盛り込み、条例制定の必要性を検討する判断材料の一つとしたい。

◆市長の6選不出馬の真意を問う

**質問** なぜ任期満了1年6カ月も前から6選不出馬と後継者指名までしなければならぬのか。

**答弁** 市長職は想像以上の激務で、災害時などは過酷な状況が続き、年齢的にも不安を感じている。大規模なインフラ整備や更新が進み、将来の土台作りに一区切りがついたことから気持ちも固めた。市長選挙ではそのための舞台を整えることまでが市長の役目であると考えている。

**質問** ウエルネスタウンの分譲は、この1年の販売実績はなく、ほっとぴあ、パティオについても計画と実績は大きく乖離している。仕事にめどがついたというなら、このように市長の肝煎りで建設した商業施設の事業収益にしっかりとめどをつけることが先ではないのか。

**答弁** ウエルネスタウンの市で用意した資金は13億円。それを不動産に変えて保有し、ウエルネスタウンに貸しているということになる。現在は3億円が戻り、10億円を貸していることになる。売れるたびに現金と



渋谷 芳則  
議員



して戻ってきて、最終的に全部売れた場合は全ての貸し付けが現金として戻り、経済波及効果は68億円となる。地域経済を活性化させるためには、このような視点を持つことが必要と考える。

◆久住市政の現状と課題について

**質問** ほっとぴあやウエルネスタウン宅分譲の計画と実績の乖離によって生じている多額の財政負担について、早急に強力な収支の改善や分譲促進の対策を講ずる必要があるのではないか。

**答弁** 昨年はコロナウイルスの影響があったが、以前の3年間は相応の利益を出してきた。今後コロナの感染拡大が落ち着いたら計画に近い利益を出せると考えている。ウエルネスタウンの分譲不振の原因として、経済状況の好転の見込みが甘かったことに加えて住宅業界におけるウツドショックが生じ、住宅資材が高騰したことも要因。今後、経済状況の好転を待ちつつ、分譲促進につなげたい。



馬場 哲二  
議員



◆見附駅東西自由通路・半橋上駅舎建設、不要不急事業の再検討を

**質問** 東西地下通路は、市民の声として「薄暗く、人通りも少なく、できるだけ通りたくない」と答弁されている。市はどのような環境を放置してきたのか。

**答弁** 通路天井の高さ、幅員とも2.5m以上を確保、照度も100ルクスとして設計し、十分な明るさを確保、安全に通行できる環境は整備されている。

**質問** 車椅子利用者で見附駅から電車を利用される人の数は？

**答弁** JR長岡駅に確認したところ、令和3年4月から8月末までの5ヵ月間で4件の利用があった。

**質問** 都市構造再編集集中支援事業交付金は、国はどのような事業を対象としているのか。

**答弁** 立地適正化計画に基づき、自治体等が計画する都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の整備、防災力強化の取組等に対し、集中的に支援する事業である。

**質問** 市の立地適正化計画の中で、

見附駅周辺整備事業の東西自由通路・半橋上駅舎建設がないと国の事業が適用されないのか。

**答弁** 立地適正化計画の都市機能の関係をエリア設定することで、補助率の有利な事業が使える。国の有利な補助をとる手法として必要である。

◆見附市難聴者補聴器購入費助成事業の改善について

**質問** 4月に制度が発足してから今日まで、問合せ・相談件数及び助成を受けられた件数は。

**答弁** 問合せ・相談件数は24件。現在まで助成実績はないが、近々1件の申請が見込まれている。

**質問** 市民の皆様から私たちにも適用される制度に変えてほしいとの声を聞く。「74歳以下の方、一人暮らしの方」の制限は無くしたらどうか。

**答弁** 三条市が「一人暮らしの方」の条件を除いたところ、申請件数が増加した。また、市内の耳鼻科医院の医師から助言もいただき、「一人暮らしの方」を要件から外す方向で現在検討している。



樺澤 直純  
議員



◆新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への対応について

**質問** 今まで自宅療養となり入院待ち等の状況、使用条件はあるが症状緩和として酸素濃縮装置等での対応や自宅療養された方へ支援する食料品等について伺う。

**答弁** 感染者の把握、入院調整など一切を県が行っており、市にも情報提供を国、県に要望しているが、現在、県からの情報提供はできないとされ、入院待ちとなった人数等について把握できていない。自宅療養者の症状が悪化した時の市の対応についても、現在の県の感染者対応の仕組みでは感染者の把握や健康観察、入院調整等は県の医療調整本部と保健所が行っている。酸素濃縮装置については、医師の処方が必要な医療機器であることから、自宅療養者のために用意することは今のところ考えていない。市としては、自宅療養をされる方が早期に症状悪化の状況を確認できるよう、貸出し用のバルブや酸素メーターを準備し、補完的な立場で自宅療養者を支えていき

たい。また、希望者には自宅療養者1人につき5日程度の食料品を届け、これまで複数の支援を実施しており、食料品は市の管理栄養士から見積もってもらい、必要な日用品等も状況により柔軟に対応していきたい。

◆保育行政について

**質問** 当市での保育士不足は、現在の程度の割合であり、今後はどのような施策を講じていくのかを伺う。

**答弁** 公立保育園4園での充足率は94.4%、公立4園以外の各園の管理者に充足状況について聞き取りを行ったところ、職員が不足している1園、やや不足している3園、普通、過不足なし8園、やや余裕があるが2園と、各園が保育士の確保に尽力し、質の高い保育の提供に努めているものと認識している。保育分野の業務負担減を図るため、園務支援システムの導入の検討を進め、公立4園以外の園についても、適正に就労人事管理がなされると理解し、保育士がやりがいの持てる就労環境づくりに努めていきたい。

# わくわく体験塾 ～議会体験会～



## 小学生が市議会を体験！

新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、8月5日「議会体験会」を開催し、市内小学生6名が参加しました。

小学生や保護者が市議会を身近に感じ、議会への関心がより高まることを期待し企画しています。

### ③議会の施設見学

～議員の仕事場を見る～



市議会の各施設を見学し、議員の仕事について説明を受けました。

### ②討論と採決の準備をしよう

～賛成？反対？その理由は？～



議案は「始業式の2日前までに夏休みの宿題と持ち物準備を終わらせる。」です。

### ①市議会ってどんなところ？

～市議会の役割としくみを知る～



市民と市長と議会の関係、議会のしくみや流れを学習しました。



2. 議会中継のカメラ操作



1. 議長席で発言体験

### ④議会活動を体験しよう

議場に移動し、議長席のマイクで発言したり、議会中継のカメラの操作をしたりしました。討論では、自分の意見を堂々と主張することができました。



5. 議員へ質問



4. 起立による採決



3. 演壇での討論

参加された皆さんからは、「めったに見られない議員の部屋に入ったり、議長の席に座ったり、とても良い経験になりました。」などの感想がありました。議会体験会の様子は、市議会ホームページにも掲載しています。

# 議会日誌

= 8月 =

- 5日 わくわく体験塾（議会体験会）  
議員倫理審査会
- 20日 議員協議会  
議員研修会  
議会活性化検討委員会
- 27日 議会運営委員会
- 31日 議会運営委員会

= 9月 =

- 3日 議会運営委員会  
市議会定例会（議案上程）  
決算特別委員会  
議会だより編集委員会
- 7日 市議会定例会（一般質問）
- 8日 市議会定例会（一般質問）
- 9日 総務文教委員会
- 10日 産業厚生委員会  
議会活性化検討委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会（総務文教分科会）
- 15日 決算特別委員会（産業厚生分科会）  
決算特別委員会
- 17日 市議会定例会（最終日）

= 10月 =

- 14日 議員倫理審査会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 議員協議会  
議会だより編集委員会
- 27日 中越福祉事務組合議会定例会

## 編集後記

長引くコロナ禍の中ですが、毎日市政は動いています。令和2年度の決算が終了し、新型コロナウイルスへの緊急対策も含め予算に基づいた執行が行われたかを審議しました。議会だよりの紙面だけではお伝えできない部分もありますが、市民の皆様の代表として日々声を聞いている1人1人の議員が真剣に審議しています。人口減少が著しいなか、市民参加のまちづくりが今後ますます重要になってきます。ぜひ、議会だよりを見て市政にさらに関心をもってもらい、議場への傍聴に来ていただいたり、インターネット中継を見ていただけたらと思います。議会だよりも常に書面改革を進め、わかりやすく親しみやすい書面づくりに努めて参ります。

議会だより編集委員 渡辺 美絵

### 【議会だより編集委員】

委員長 馬場 哲二  
副委員長 渋谷 芳則  
委員 渡辺 美絵 樺澤 直純 徳永 英明

## 議会を傍聴しませんか

◆ 12月市議会定例会 会期予定 ◆

月日	曜日	開議時刻	会 議
12. 3	金	午前 10 時	本会議
12. 7	火	午前 10 時	本会議（一般質問）
12. 8	水	午前 10 時	本会議（一般質問）
12. 9	木	午前 10 時	総務文教委員会
12.10	金	午前 10 時	産業厚生委員会
12.14	火	午前 10 時	本会議（採決）

※定例会は、すべて傍聴できます。

①傍聴の定員は本会議 32 名、委員会は 5 名です。

②本会議及び委員会は、生中継と録画中継をインターネットで配信しています。見附市ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

《ホームページアドレス》

(<http://www.city.mitsuke.niigata.jp/>)

このコーナーは、  
議会を傍聴した感想や市議会に  
対するご意見を掲載しています。

## 《街かどで一言》

### 「思うことが討論しあえる議会に」

先日の9月議会、ご苦労様でした。久しぶりにネットの生配信を拝見しました。議会の質、議員の質を垣間見ることができました。来年10月に任期だそうですね。私は、日頃から議員は夢を見るべきだ、夢を語るべきだ。議会を通して「見附市の自分で考える将来像」を議員同士で討論し、見附市の活性化、住み良い見附市にするにはどうするのか、そんな議会にしていくべきではないでしょうか？と考えています。

コロナ禍で、大変な状況の中、テレワークが推奨されていますが、見附市がテレワークできる場所を提供できれば、市の滞留人口が増えるのではありませんか。商店街の活性化に向け、空き店舗に何かに特化した商店を誘致し、特色がある楽しめる街に知恵を出し合う等々、小さいことかもしれませんが、将来像の中から導き出せるのではないのでしょうか？9月議会を拝見させていただき、そんな思いをしたのは私だけでしょうか？

昭和町 長谷川 慧輔